

## 第2章 防災セミナーの活動の報告

### 2-1 第1回セミナー

第1回セミナーの概要は次の通りである。

開催日時	8月7日（火）14：00～17：00
開催場所	工学院大学新宿校舎 8階A-0815教室
テーマ	災害対応における企業の法的リスクと事業者等の連携による地域防災
講師	中野明安氏（丸の内総合法律事務所 弁護士）
セミナー内容	14：00 : 開会 14：05～14：30：報告 「企業や地域に求められる災害対応と新宿駅周辺防災対策協議会の取り組み」 平井光雄氏（新宿区区長室危機管理課長） 14：30～16：30：講演 「災害対応における企業の法的リスクと事業者等の連携による地域防災」 （講師）中野明安氏（丸の内総合法律事務所） 16：30～17：00：質疑応答・事務連絡等 17：00 : 閉会
配付資料	①次第 ②「災害対応における企業の法的リスクと事業者等の連携による地域防災」 ③協議会 第1回セミナー チラシ ④協議会 第1回セミナー 開催通知

※配付資料は巻末の参考資料を参照のこと

## 2-2 第2回セミナー

第2回セミナーの概要は次の通りである。



開催日時	8月22日（火）18：30～20：20
開催場所	工学院大学新宿校舎 3階アーバンテックホール
テーマ	首都直下地震等による東京の被害想定
講師	中林一樹氏（明治大学大学院特任教授 / 首都大学東京名誉教授）
セミナー内容	1. 塾長あいさつ 2. ゲストからのお話 明治大学大学院特任教授 中林一樹氏 3. 質疑応答 4. お知らせ
配付資料	①齊藤塾 東京都の新しい地震被害想定が意味するもの ②被害想定成果の活用に向けた留意点 ③発生確率の真意 ④アンケート調査票

※配付資料は巻末の参考資料を参照のこと

## 2-3 第3回セミナー

### (1) セミナーの概要

第3回セミナーの概要は次の通りである。

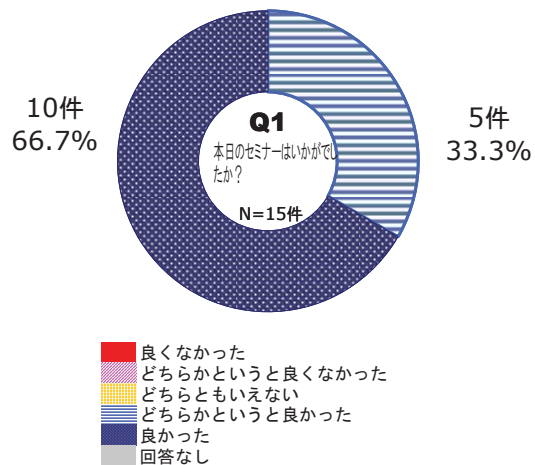
開催日時	10月4日（木）13：30～15：30	
開催場所	工学院大新宿校舎 3階アーバンテックホール	
テーマ	地震時にオフィス・ビル内では何が起きる？	
講師	鱒沢曜氏（鱒沢工学研究所 代表） 水村一明氏（東京消防庁 防災部 震災対策課 課長補佐(震災対策係長)）	
セミナー内容	<p>13：30 ：開会</p> <p>13：30～：あいさつ</p> <p>13：35～：講義1 「オフィスビルの防災と事業継続に向けて」 （講師）鱒沢曜氏（鱒沢工学研究所 代表）</p> <p>14：15～：講義2 「東日本大震災の室内被害と長周期地震動等に対する室内安全対策～家具類の転倒・落下・移動防止対策～」 （講師）水村一明氏（東京消防庁 防災部 震災対策課 課長補佐(震災対策係長)）</p> <p>14：55～：意見交換・質疑応答 ：事務連絡等</p> <p>15：30 ：閉会</p>	
配付資料	<p>①プログラム</p> <p>②講義1資料「オフィスビルの防災と事業継続に向けて」</p> <p>③講義1資料「ビルと環境」No138 抜刷</p> <p>④講義2資料「東日本大震災の室内被害と長周期地震動等に対する室内安全対策」</p> <p>⑤非構造部材の耐震点検チェックリスト</p> <p>⑥アンケート</p>	
実施風景	<p>鱒沢曜氏の講義の様子</p> 	<p>水村一明氏の講義の様子</p> 

※配付資料は巻末の参考資料を参照のこと

## (2) アンケート調査結果

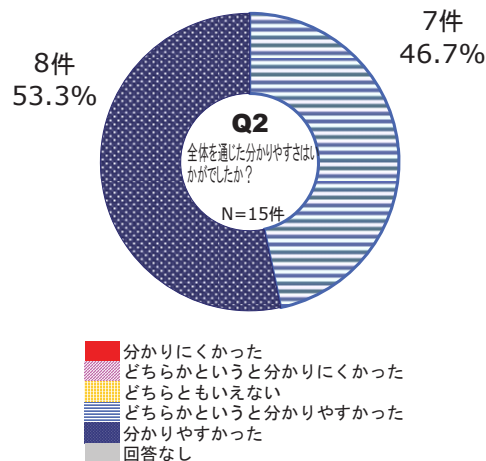
### 1. 本日のセミナーはいかがでしたか？

- 「良かった」と回答した人が66.7%、「どちらかという良かった」と回答した人が33.3%であり、アンケートに回答いただいた全ての方が肯定的な回答（「良かった」「どちらかという良かった」）であった。
- アンケートを行っているセミナーのうち、「良かった」と回答した割合は、第3回の66.7%が最も高い。



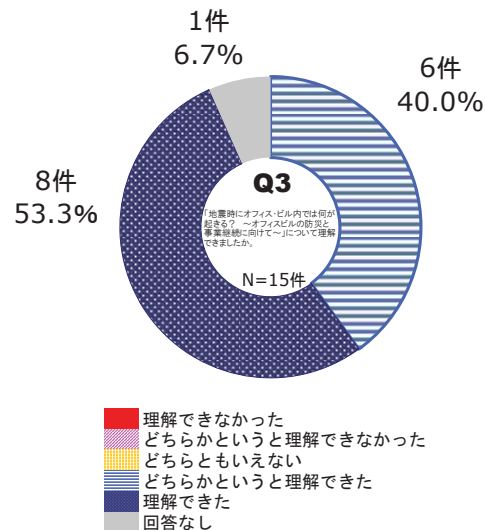
### 2. 全体を通じた分かりやすさはいかがでしたか？

- 「分かりやすかった」と回答した人が53.3%、「どちらかという分かりやすかった」と回答した人が46.7%であり、アンケートに回答いただいた全ての方が分かりやすかった（「分かりやすかった」「どちらかという分かりやすかった」）と回答した。



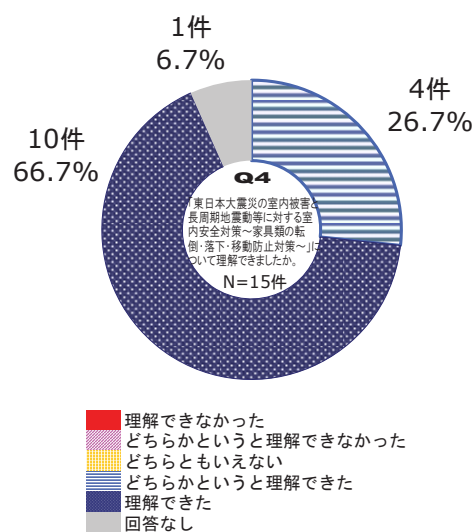
3. 【講義1】「地震時にオフィス・ビル内では何が起きる？ ～オフィスビルの防災と事業継続に向けて～」について理解できましたか。

□ 「理解できた」と回答した人が53.3%、「どちらかという理解できた」と回答した人が40.0%であり、アンケートに回答いただいた多くの方が理解できた（「理解できた」「どちらかという理解できた」と回答した）。



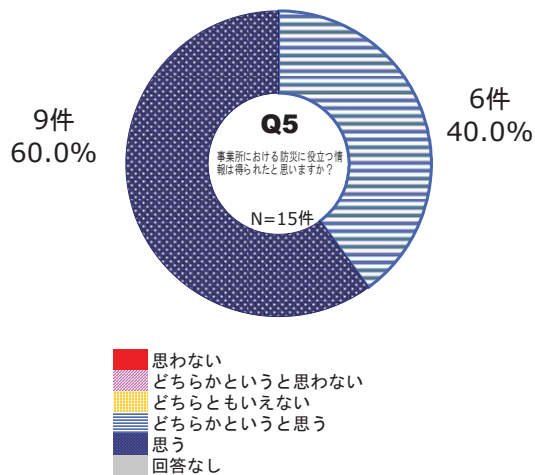
4. 【講義2】「東日本大震災の室内被害と長周期地震動等に対する室内安全対策～家具類の転倒・落下・移動防止対策～」について理解できましたか。

□ 「理解できた」と回答した人が66.7%、「どちらかという理解できた」と回答した人が26.7%であり、アンケートに回答いただいた多くの方が理解できた（「理解できた」「どちらかという理解できた」と回答した）。



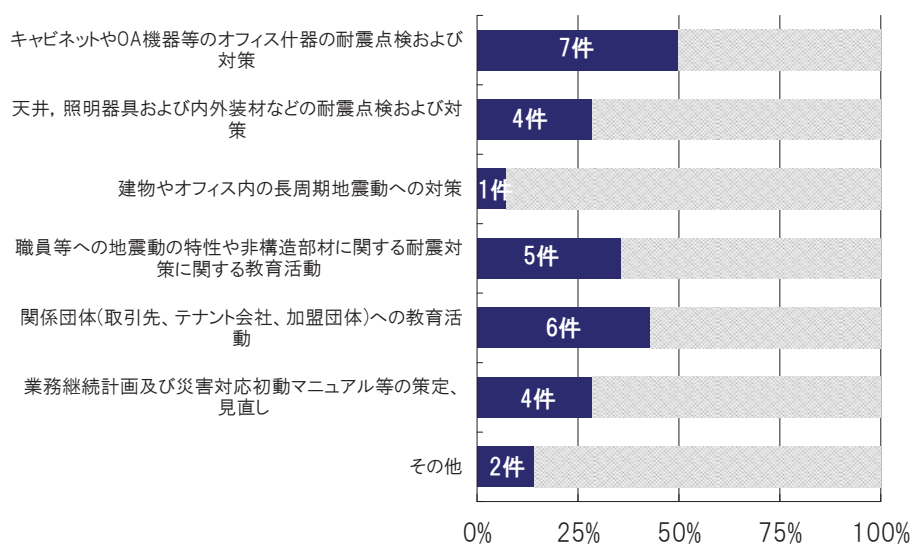
5. 事業所における防災に役立つ情報は得られたと思いますか？

□ 「思う」と回答した人が60.0%、「どちらかというと思う」と回答した人が40.0%であり、アンケートに回答いただいた全ての方が役立つ情報が得られた（「思う」「どちらかというと思う」）と回答した。



6. セミナーに参加して、ご所属の企業・団体等において、取り組まなければならないと考えた大規模地震対策はありますか。

□ 「キャビネットやOA機器等のオフィス什器の耐震点検および対策」と回答した人が最も多く、「関係団体(取引先、テナント会社、加盟団体)への教育活動」「職員等への地震動の特性や非構造部材に関する耐震対策に関する教育活動」が続く。



7. セミナーに参加して、大規模地震等への対策について認識を新たにすることがあります  
か。

参加者からの意見としては、以下の意見が寄せられた。

**【主な意見】**

- ・改めて事前の対策の必要性を再確認いたしました。
- ・これまで以上に意識を高める必要があると思いました。
- ・地震の恐さを改めて感じた。特に実際のゆれや、部屋の中の様子を見ると、何げない家具、事務機が凶器に変わる恐さを実感した。
- ・非構造部材による受傷に注意する必要がある事を認識した。
- ・長周期地震動の低層階と高層階の揺れの違いを動画でみて実感した。一般の方から相談を受ける一般の建築士は常に意識を持つておくべき

8. 本日のセミナーの内容以外で、大規模地震等への対策、地域連携、業務継続等に関して日  
頃疑問に思う点や知りたいと思っている事項がありますか。(今後、セミナーとして開催  
して欲しいテーマはありますか。)

参加者からの意見としては、以下の意見が寄せられた。

**【主な意見】**

- ・帰宅困難者対策、一時救護所の立ち上げや、実際に負傷者が出た際の具体的な対応方法、事務所に課せられた3日間の食料とは、滞在する顧客やその後流入する客を含めるととらえどころがない。
- ・地域連携が大切だと重要だと思いますが、その向上方策は難しいです。セミナーを通じて連携していければ良いと思います。

9. 本日のセミナーに参加しようと思われた理由についてご記入ください。

参加しようと思った主な理由は以下の通りである。

【主な意見】


- ・ 自社の震災対策について何か参考になること、何かヒントになるようなことを少しでも吸収させて頂きたいと考えています。
- ・ 大地震後、自社ビルの安全確認を自分たちでやらざるを得なくなる可能性が高いので、対策を改めて参考になると考えた。
- ・ 西口部会で案内をいただいたため。
- ・ 危機管理マニュアルの改訂の参考とするため。
- ・ 自社ビルの震災対策が十分なのか他のビルなどの対策を知ることができる。情報収集のため。
- ・ 協議会メンバーなので知識を収得するため。
- ・ 色々な情報を得て、自社に反映していきたいと思った。



## 2-4 第4回セミナー

### (1) セミナーの概要

第4回セミナーの概要は次の通りである。

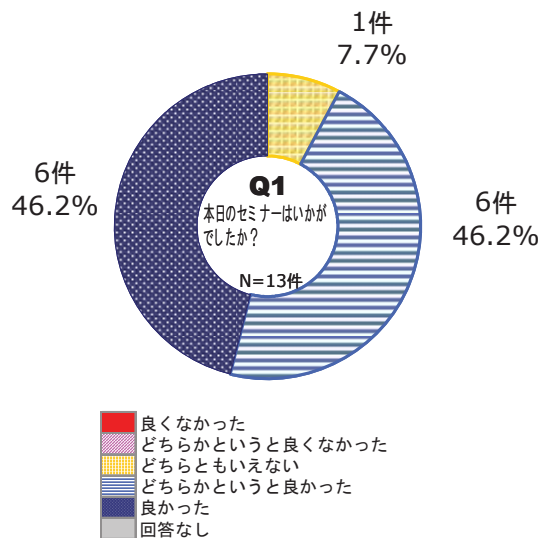
開催日時	10月10日(水) 13:30～15:30
開催場所	工学院大学新宿校舎 3階アーバンテックホール
テーマ	オフィス・ビル内の耐震対策方法は？
講師	鱒沢曜氏（鱒沢工学研究所 代表） 五野克昭氏（社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会 技術安全委員会安全小委員会複写機の地震安全対策WG 主査） 中野善仁氏（同 副主査）
セミナー内容	13:30 : 開会 13:30～ : あいさつ 13:35～ : ディスカッション 「各事業所での非構造部材の点検結果について」 (進行) 鱒沢曜氏（鱒沢工学研究所 代表） 14:15～ : 講義 「長周期地震動に対する複写機、複合機及びデジタル印刷機の耐震実験報告とJBMIAの広報活動」～移動・転倒リスクの低減方法～ (講師) 社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会技術安全委員会安全小委員会複写機の地震安全対策WG 主査 五野 克昭氏、副主査 中野 善仁氏 : 事務連絡 15:30 : 閉会
配付資料	①プログラム ②講義資料「長周期地震動に対する複写機、複合機及びデジタル印刷機の耐震実験報告とJBMIAの広報活動」 ③アンケート
実施風景	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>鱒沢氏講演(質疑応答)の様子</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>五野氏講演の様子</p>  </div> </div>

※配付資料は巻末の参考資料を参照のこと

## (2) アンケート調査結果

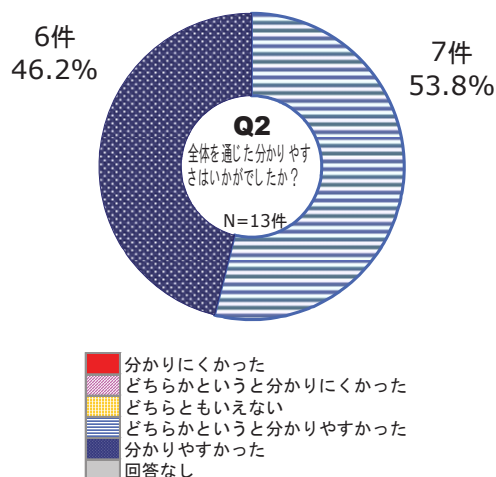
### 1. 本日のセミナーはいかがでしたか？

□ 「良かった」と回答した人が46.2%、「どちらかという良かった」と回答した人が46.2%であり、アンケートに回答いただいた多くの方が肯定的な回答（「良かった」「どちらかという良かった」）であった。



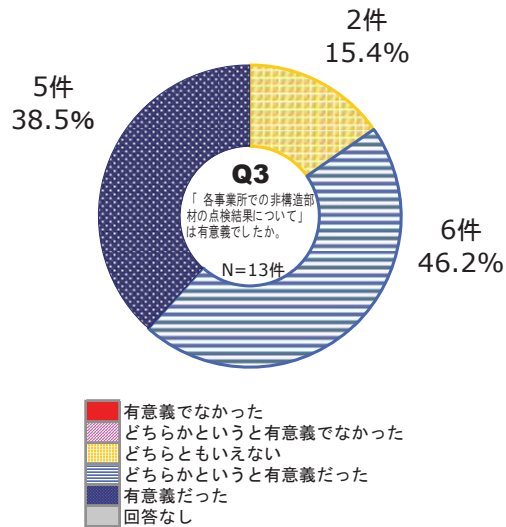
### 2. 全体を通じた分かりやすさはいかがでしたか？

□ 「分かりやすかった」と回答した人が46.2%、「どちらかという分かりやすかった」と回答した人が53.8%であり、アンケートに回答いただいた全ての方が分かりやすかった（「分かりやすかった」「どちらかという分かりやすかった」）と回答した。



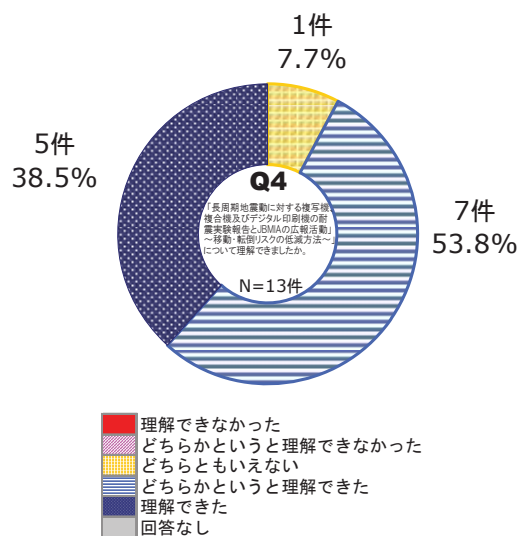
3. 「各事業所での非構造部材の点検結果について」は有意義でしたか。

□ 「有意義だった」と回答した人が38.5%、「どちらかというとも有意義だった」と回答した人が46.2%であり、アンケートに回答いただいた多くの方が有意義であった（「有意義だった」「どちらかというとも有意義だった」と回答した）。



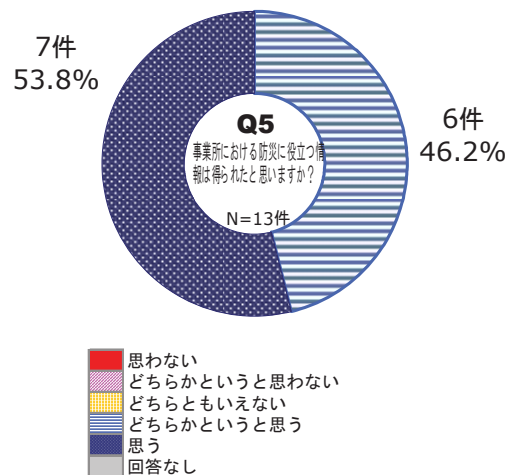
4. 「長周期地震動に対する複写機、複合機及びデジタル印刷機の耐震実験報告とJBMAの広報活動」～移動・転倒リスクの低減方法～」について理解できましたか。

□ 「理解できた」と回答した人が38.5%、「どちらかというとも理解できた」と回答した人が53.8%であり、アンケートに回答いただいた多くの方が理解できた（「理解できた」「どちらかというとも理解できた」と回答した）。



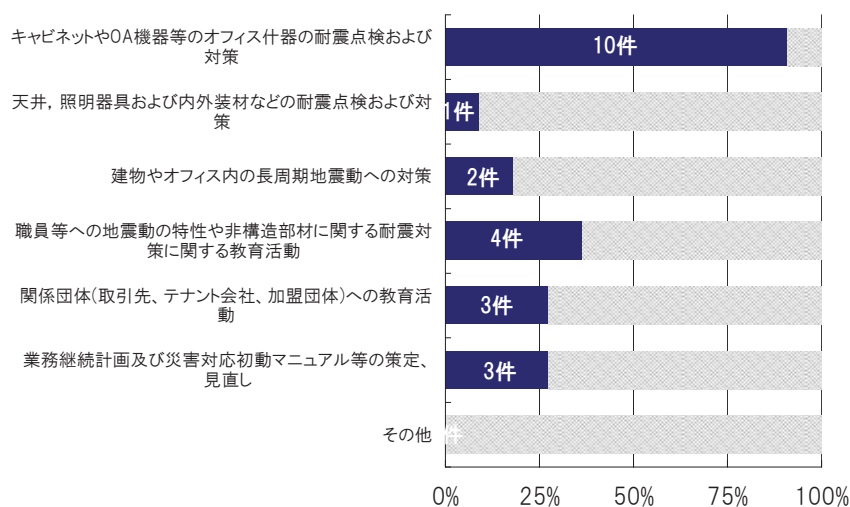
5. 事業所における防災に役立つ情報は得られたと思いますか？

□ 「思う」と回答した人が53.3%、「どちらかというと思う」と回答した人が46.2%であり、アンケートに回答いただいた全ての方が役立つ情報が得られた（「思う」「どちらかというと思う」）と回答した。



6. セミナーに参加して、ご所属の企業・団体等において、取り組まなければならないと考えた大規模地震対策はありますか。

□ 「キャビネットやOA機器等のオフィス什器の耐震点検および対策」と回答した人が9割と最も多く、次いで「職員等への地震動の特性や非構造部材に関する耐震対策に関する教育活動」が多い。



7. セミナーに参加して、大規模地震等への対策について認識を新たにすることがあります  
か。

参加者からの意見としては、以下の意見が寄せられた。

**【主な意見】**

- ・ Eディフェンスの動画は見たことがあっても見るたびに意識が高まります。
- ・ OA機器について改めて検討しなければいけないと思った。
- ・ 転倒・対策は重要であることを認識できた。もう少し徹底した対策が示されると思っていたが残念な結果であった。
- ・ 身の回りの簡単な対策が、あまり行われていない。
- ・ 改めて地震の恐怖を知りました。事務機器が固定されていないと凶器になる。
- ・ コピー機の固定方法について J B M I A の説明が参考になった。

8. 本日のセミナーの内容以外で、大規模地震等への対策、地域連携、業務継続等に関して日頃疑問に思う点や知りたいと思っている事項がありますか。(今後、セミナーとして開催して欲しいテーマはありますか。)

参加者からの意見としては、以下の意見が寄せられた。

**【主な意見】**

- ・ あえていえば、地域連携について何か連携して動けるようなセミナーを開催してほしいです。
- ・ ①SKK防災部会と駅周辺協議会との連携 (あるいは程度改善委員会エリア防災部会)  
②JRや百貨店を中心に立ち上がる仕組みづくり。
- ・ 帰宅困難者対策、百貨店として日々多くのお客様と関わる中で、有事の際の対応が見えない点が多々ある。
- ・ ①帰宅困難者対策としての非常用品の備蓄  
②外部からの困難者の受入対策  
③地震発生時における防災センターの活用

9. 本日のセミナーに参加しようと思われた理由についてご記入ください。

参加者からの意見としては、以下の意見が寄せられた。



**【主な意見】**

- ・身近で直接的な自身対策情報を得るため。
- ・どのような対策を講じる必要があるのかを知りたかったからです。
- ・職場への教育・反影
- ・会社の意向
- ・地域活動の一つとして地域に連携していきたい。
- ・屋外避難、屋内避難を判断するとき判断要素として被害の評価がどれだけ使えるものなのか知りたい。

## 2-5 第5回セミナー

### (1) セミナーの概要

第5回セミナーの概要は次の通りである。

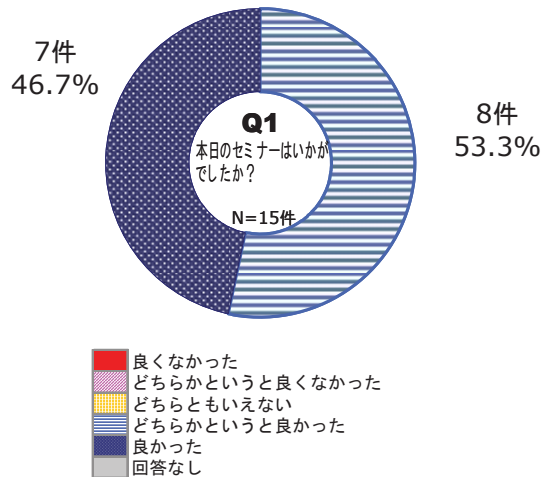
開催日時	11月22日(木) 13:30~15:30
開催場所	工学院大学新宿校舎 11階A-1161教室
テーマ	オフィス・ビル内の防災点検マップを作成する
講師	村上正浩(工学院大学建築学部)
セミナー内容	13:30 : 開会 13:30~ : あいさつ 13:35~ : 事前説明「防災点検マップについて」 13:55~ : 見学「工学院大学の防災点検マップ」 14:25~ : グループディスカッション 「オフィス・ビル内の防災点検マップの作成に向けて」 15:10~ : 検討結果発表 : 事務連絡 15:30 : 閉会
配付資料	①プログラム ②「防災点検マップづくりの手順」 ③工学院大学新宿校舎25F防災点検マップ ④アンケート
実施風景	見学の様子  グループディスカッションの様子 

※配付資料は巻末の参考資料を参照のこと

## (2) アンケート調査結果

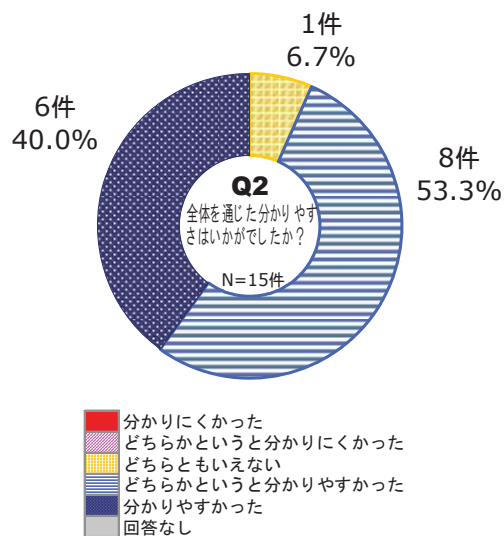
### 1. 本日のセミナーはいかがでしたか？

□ 「良かった」と回答した人が46.7%、「どちらかという良かった」と回答した人が53.3%であり、アンケートに回答いただいた全ての方が肯定的な回答（「良かった」「どちらかという良かった」）であった。



### 2. 全体を通じた分かりやすさはいかがでしたか？

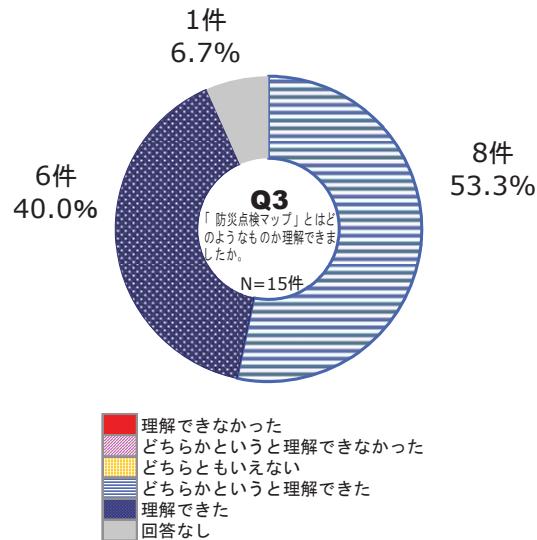
□ 「分かりやすかった」と回答した人が40.0%、「どちらかという分かりやすかった」と回答した人が53.3%であり、アンケートに回答いただいた多くの方が分かりやすかった（「分かりやすかった」「どちらかという分かりやすかった」）と回答した。





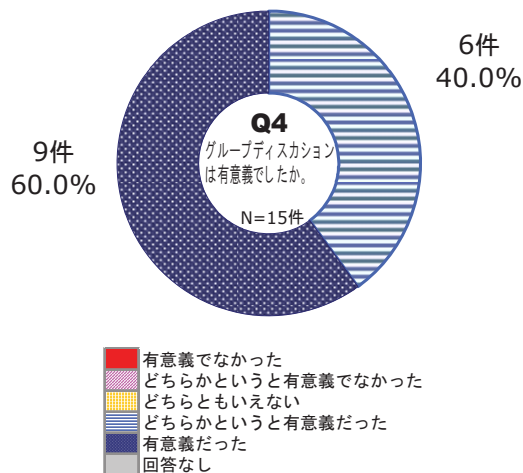
### 3. 「防災点検マップ」とはどのようなものか理解できましたか。

□ 「理解できた」と回答した人が40.0%、「どちらかという理解できた」と回答した人が53.3%であり、アンケートに回答いただいた多くの方が理解できた（「理解できた」「どちらかという理解できた」と回答した）。



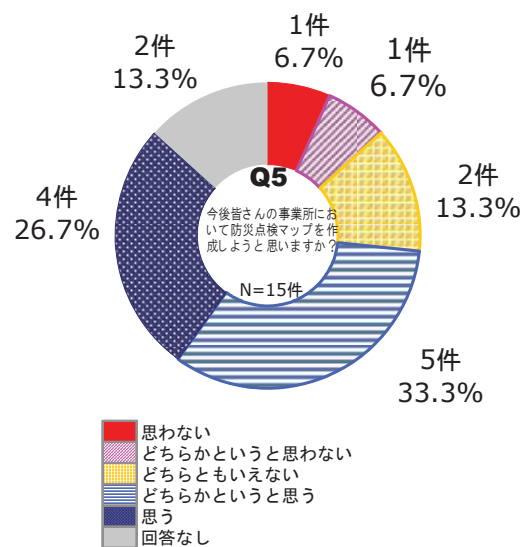
### 4. グループディスカッションは有意義でしたか。

□ 「有意義だった」と回答した人が60.0%、「どちらかという有意義だった」と回答した人が40.0%であり、アンケートに回答いただいた全ての方が有意義だった（「有意義だった」「どちらかという有意義だった」と回答した）。



5. 今後皆さんの事業所において防災点検マップを作成しようと思いませんか？

- 「思う」と回答した人はアンケートに回答した人の26.7%にとどまり、作成しようと思わないと回答した人も6.7%みられた。
- 第6回セミナーの「被害想定」についても、作成しよう「思う」と回答した人は30.0%にとどまっていることから、いかに作成に導くかが課題と考えられる。



7. セミナーに参加して、大規模地震等への対策について認識を新たにしたことがありますか。

- 参加者からの意見としては、以下の意見が寄せられた。

【主な意見】

- ・とても役に立ちました。
- ・誰でもわかる（サイン・マップ等）ことが重要。
- ・備蓄倉庫を見学してみて（25階）各階に分散する必要性を感じた。
- ・常に意識を新たにしております。
- ・1年前からあまり状況が変化していない
- ・ビル事業者/管理者がいかにテナントを巻き込むか。（歌舞伎町も同じ悩みかもしれません）

8. 今年度のセミナーの内容以外で、大規模地震等への対策、地域連携、業務継続等に関して日頃疑問に思う点や知りたいと思っている事項がありますか。(来年度以降、セミナーとして開催して欲しいテーマはありますか。)

参加者からの意見としては、以下の意見が寄せられた。

**【主な意見】**

- ・ 帰宅困難者対策
- ・ 高層ビル火災の避難誘導対策、地震時にエレベーターが使えない時の各階の情報収集方策
- ・ 帰宅困難者対応に必要な受入体制（保安要員等）
- ・ 非常時の一時滞在施設を増やすためには非常電源や地域冷暖房など使用できる環境づくりが重要であると思う。高層ビルは窓がなく3日滞留できるか、酸素濃度があるかなど心配はつきない。一方で、一時滞在施設要請などあり、矛盾を感じる。
- ・ 教科書的な知識は最小限にして地域の課題に。この課題を優先順位つけてひとつひとつ課題解決のヒントにつながる実践的なセミナーを開催してほしい。

9. 本日のセミナーに参加しようと思われた理由についてご記入ください。

参加者からの意見としては、以下の意見が寄せられた。


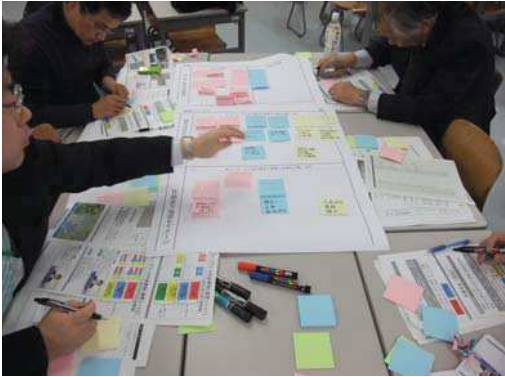
**【主な意見】**

- ・ 非常に役立つセミナーだと思います。
- ・ 第1回から継続して参加しているから。
- ・ 自社の活動や計画策定などの参考にさせていただければと考えています。

## 2-6 第6回セミナー

### (1) セミナーの概要

第6回セミナーの概要は次の通りである。

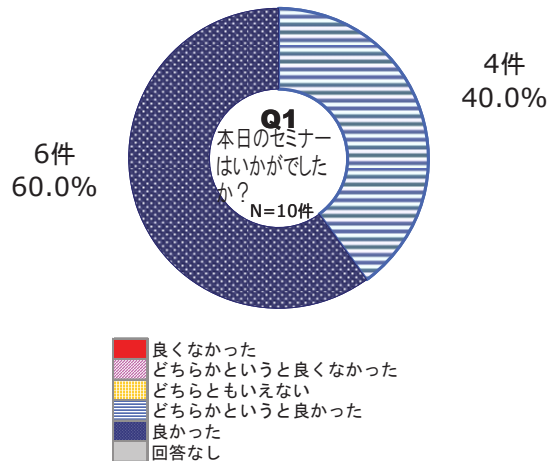
開催日時	11月29日(木) 13:30~15:30
開催場所	工学院大学新宿校舎 11階A-1161教室
テーマ	オフィス・ビル内でおきる地震被害を想定する
講師	村上正浩(工学院大学建築学部)
セミナー内容	<p>13:30 : 開会</p> <p>13:30~ : あいさつ、事前説明</p> <p>13:35~ : グループワーク</p> <p style="padding-left: 40px;">「オフィス・ビル内で起きる地震被害を想定する」</p> <p style="padding-left: 80px;">共有する(15分)</p> <p style="padding-left: 80px;">分析する(40分)</p> <p style="padding-left: 80px;">検証する、改善する(15分)</p> <p>14:45~ : 成果発表・意見交換</p> <p style="padding-left: 40px;">: 事務連絡</p> <p>15:30 : 閉会</p>
配付資料	<p>①プログラム</p> <p>②オフィス・ビル内で起きる地震被害を想定する</p> <p>③状況付与資料(遠方の巨大地震、首都直下地震)</p> <p>④演習シート</p> <p>⑤アンケート</p>
実施風景	<p>グループワークの様子</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>

※配付資料は巻末の参考資料を参照のこと

## (2) アンケート調査結果

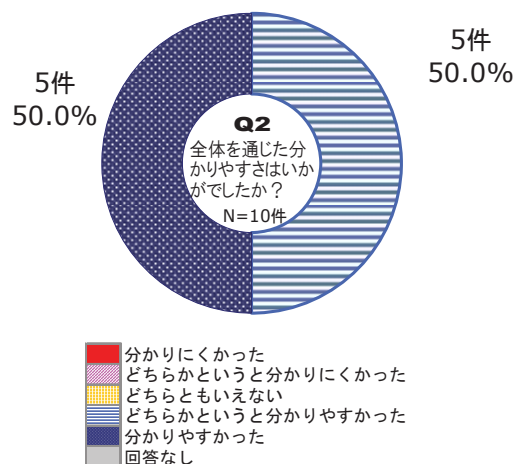
### 1. 本日のセミナーはいかがでしたか？

□ 「良かった」と回答した人が60.0%、「どちらかという良かった」と回答した人が40.0%であり、アンケートに回答いただいた全ての方が肯定的な回答（「良かった」「どちらかという良かった」）であった。



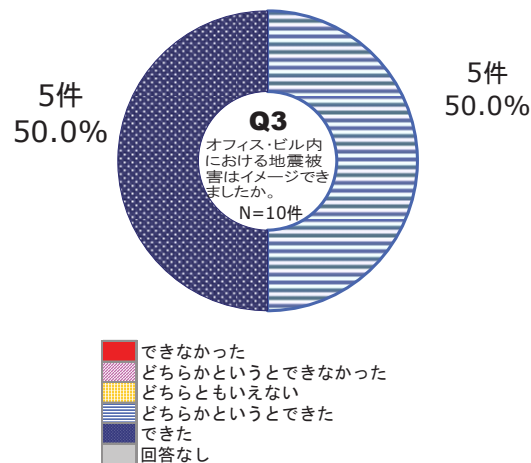
### 2. 全体を通じた分かりやすさはいかがでしたか？

□ 「分かりやすかった」と回答した人が50.0%、「どちらかという分かりやすかった」と回答した人が50.0%であり、アンケートに回答いただいた全ての方が分かりやすかった（「分かりやすかった」「どちらかという分かりやすかった」）と回答した。



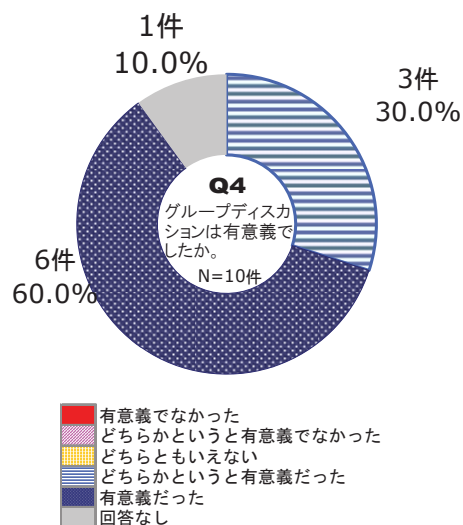
### 3. オフィス・ビル内における地震被害はイメージできましたか。

- 「できた」と回答した人が50.0%、「どちらかというときできた」と回答した人が50.0%であり、アンケートに回答いただいた全ての方がイメージできた（「できた」「どちらかというときできた」と回答した）。



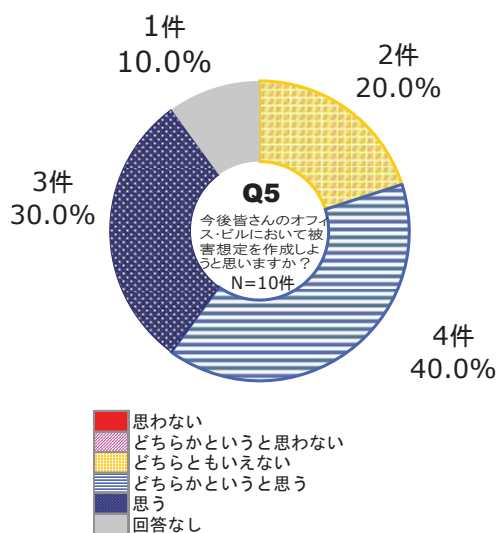
### 4. グループディスカッションは有意義でしたか。

- 「有意義だった」と回答した人が60.0%、「どちらかというとき有意義だった」と回答した人が30.0%であり、アンケートに回答いただいた多くの方が有意義だった（「有意義だった」「どちらかというとき有意義だった」と回答した）。
- 第5回セミナーで行ったグループディスカッションについても、6割の方が「有意義だった」と回答していることから、グループディスカッションが有効な手段であったと考えられる。



5. 今後皆さんのオフィス・ビルにおいて被害想定を作成しようと思いませんか？

- 「思う」と回答した人はアンケートに回答した人の30.0%にとどまった。
- 第5回セミナーの「防災点検マップ」についても、作成しようと思おうと「思う」と回答した人は26.7%にとどまっていることから、いかに作成に導くかが課題と考えられる。



7. セミナーに参加して、大規模地震等への対策について認識を新たにすることがあります

- 参加者からの意見としては、以下の意見が寄せられた。

【主な意見】

- ・最悪の地震時の想像力がたくましくなった。
- ・3.11を経験し地震に対する考えも現実化できるようになり、今回のセミナーでも多面で参考になった。
- ・皆さんが自社の被害であるとか体験したことを話すようになったので、目新しい事を知ることができるようになった。
- ・備蓄や帰宅困難者対策
- ・まだまだ問題点が多く、耐震対策の方法も足りない気がする（耐震グッズ商品開発も必要）。
- ・3.11の被害が高層ビル街で相当あったことが垣間見えた。人が変わらないうちに共有して次なる地震に備えたい。

8. 今年度のセミナーの内容以外で、大規模地震等への対策、地域連携、業務継続等に関して日頃疑問に思う点や知りたいと思っている事項がありますか。(来年度以降、セミナーとして開催して欲しいテーマはありますか。)

参加者からの意見としては、以下の意見が寄せられた。

**【主な意見】**

- ・今年度のような内容を一連で行うことが、次年度もできると良い。
- ・地域医療体制の現状

9. 本日のセミナーに参加しようと思われた理由についてご記入ください。

参加者からの意見としては、以下の意見が寄せられた。

**【主な意見】**



- ・社内の訓練を計画し運営しなければならないため。
- ・会社の代表として
- ・新宿区内で営業させていただく者として、地域との連携において社内の対策を考えてまいりたいと存じます。
- ・共有して次なる大震災に備えたい（プールの水がこぼれて非常用E V停止、スライド式書架のレールはずれ. etc）。



## 2-7 第7回セミナー

### (1) セミナーの概要

第7回セミナーの概要は次の通りである。

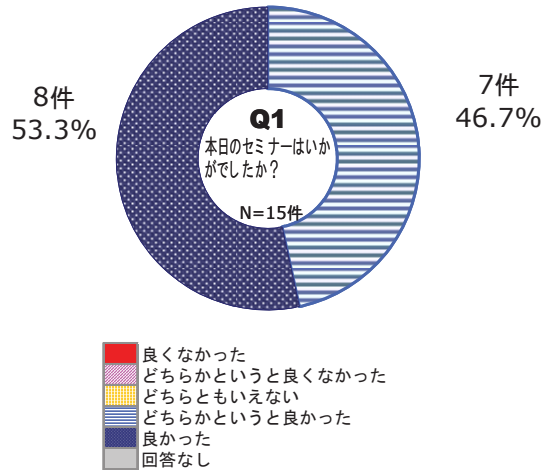
開催日時	12月20日(木) 13:30~15:30
開催場所	工学院大学新宿校舎 11階A-1161教室
テーマ	ビルの地震直後の継続使用性を判断する
講師	鱒沢曜氏 (鱒沢工学研究所 代表) 諏訪仁氏 (大林組 技術研究所 構造技術研究部 主任研究員) 久田嘉章氏 (工学院大学建築学部)
セミナー内容	13:30 : 開会 13:30~ : あいさつ 13:40~14:20 : 解説「建物被害地震被害チェックリストの使い方」 (講師) 鱒沢工学研究所 代表 鱒沢曜氏 大林組 技術研究所 主任研究員 諏訪仁氏 14:20~15:00 : 図上演習 15:10~15:20 : 解説「建物被災モニタリングシステムについて」 (講師) 工学院大学建築学部 久田嘉章氏 : 事務連絡 15:30 : 閉会
配付資料	①プログラム ②建物被害地震被害チェックリスト (事業所用) ③建物被害地震被害チェックリスト (建物管理者用) ④図上演習資料 ⑤アンケート
実施風景	図上演習の様子  

※配付資料は巻末の参考資料を参照のこと

## (2) アンケート調査結果

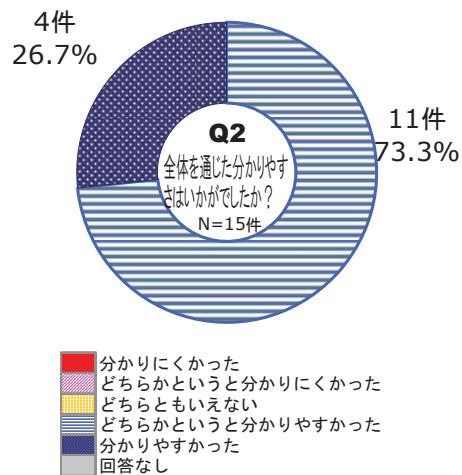
### 1. 本日のセミナーはいかがでしたか？

- 「良かった」と回答した人が53.3%、「どちらかという良かった」と回答した人が46.7%であり、アンケートに回答いただいた全ての方が肯定的な回答（「良かった」「どちらかという良かった」）であった。



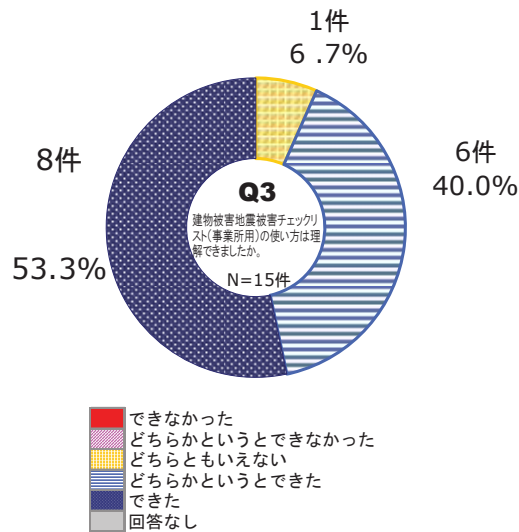
### 2. 全体を通じた分かりやすさはいかがでしたか？

- 「わかりやすかった」と回答した人が26.7%、「どちらかという良かった」と回答した人が73.3%であり、アンケートに回答いただいた全ての方がわかりやすかった（「わかりやすかった」「どちらかというわかりやすかった」）と回答した。
- ただし、「わかりやすかった」と回答した割合は、他のセミナーより少ない傾向にある。



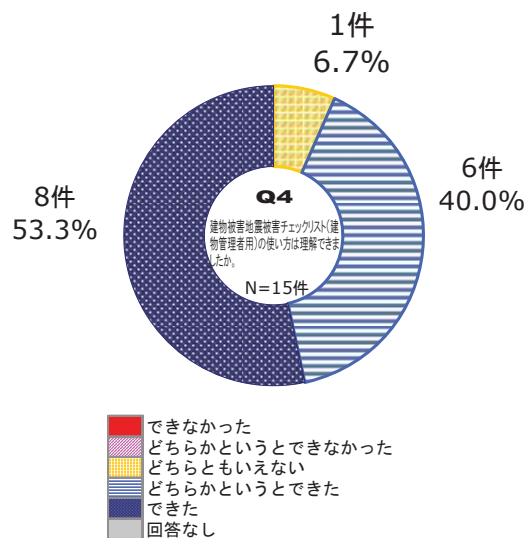
### 3. 建物被害地震被害チェックリスト（事業所用）の使い方は理解できましたか。

□ 「できた」と回答した人が53.3%、「どちらかというとできた」と回答した人が40.0%であり、アンケートに回答いただいた多くの方が理解できた（「できた」「どちらかというとできた」）と回答した。



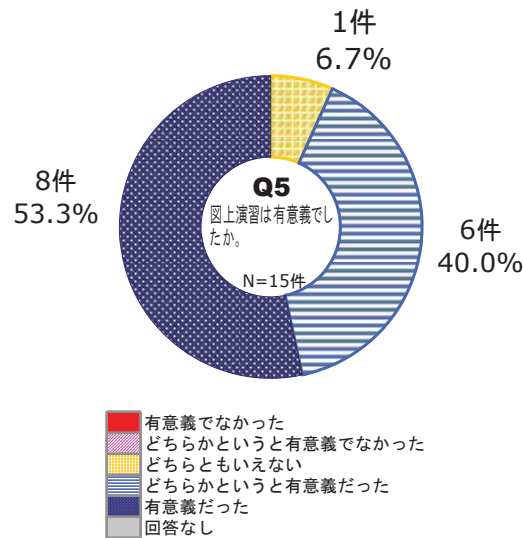
### 4. 建物被害地震被害チェックリスト（建物管理者用）の使い方は理解できましたか。

□ 「できた」と回答した人が53.3%、「どちらかというとできた」と回答した人が40.0%であり、アンケートに回答いただいた多くの方が理解できた（「できた」「どちらかというとできた」）と回答した。



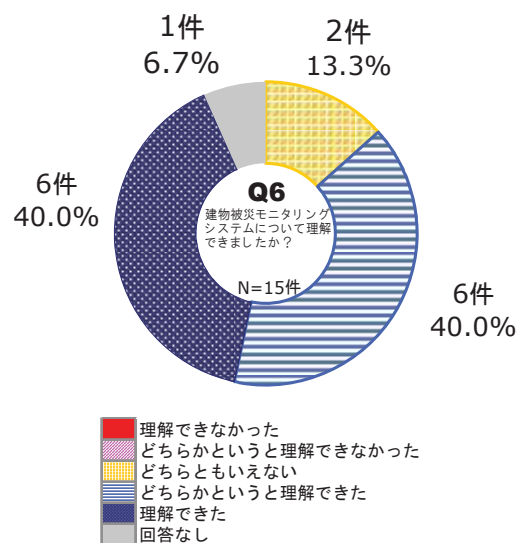
### 5. 図上演習は有意義でしたか。

□ 「有意義だった」と回答した人が53.3%、「どちらかというとも有意義だった」と回答した人が40.0%であり、アンケートに回答いただいた多くの方が有意義だった（「有意義だった」「どちらかというとも有意義だった」と回答した）。



### 6. 建物被災モニタリングシステムについて理解できましたか？

□ 「理解できた」と回答した人が40.0%、「どちらかというとも理解できた」と回答した人が40.0%であり、アンケートに回答いただいた多くの方が理解できた（「理解できた」「どちらかというとも理解できた」と回答した）。



7. セミナーに参加して、大規模地震時の被害確認等について認識を新たにすることがありますか。

参加者からの意見としては、以下の意見が寄せられた。

【主な意見】

- ・チェックリストに写真を載せてあったのでイメージをつかみやすかった。
- ・ある程度素人でも判断できることが判った。しかし、専門家でないと細かい見極めができないと思う。
- ・事前準備の重要性
- ・判断が難しいことが良く判った
- ・訓練を高めていくことが重要であると認識した。

8. 今年度のセミナーの内容以外で、大規模地震等への対策、地域連携、業務継続等に関して日頃疑問に思う点や知りたいと思っている事項がありますか。(来年度以降、セミナーとして開催して欲しいテーマはありますか。)

参加者からの意見としては、以下の意見が寄せられた。

【主な意見】

- ・一旦ビル内に溜まった後の帰宅タイミングの判断（全員一斉ではないということはイメージできるが、ではどうすれば良いかという点が課題）。
- ・①災害時のパニックの事態  
チリ地震での事故などではパニック防止策が有効であったが、一般にいわれるより緊急時等では人は意外に冷静であると聞いています。実例をもとに実態を知りたいと思います。
- ・②地下の安全性と拒否感について
- ・帰宅困難者対策
- ・フルスケールエクササイズが必要
- ・目線の信頼度についてはもう少し説明が欲しい。

9. 本日のセミナーに参加しようと思われた理由についてご記入ください。

参加者からの意見としては、以下の意見が寄せられた。

【主な意見】

- ・今回のテーマが自社ビルの課題でもあるため、またテナントの立場でも参考になる。
- ・大地震が発生したときに外に避難しない。建物内避難がいわれるように、建物の継続使用可否について多くの人を知りたがっていることから情報を求めて参加。
- ・新宿区の協議会の一環として
- ・ビル管理会社で一時待機の可否が大きな課題であり是非参加しようと思っていた。
- ・ビル管理者としてどのように短時間でビル安全性を判断するか、勉強したいと考え参加した。
- ・会社のBCP及び施設マニュアルを策定するにあたり参考になると思われたため
- ・被害調査、収容の可否まで理解できそうだから
- ・被害確認は仕事として必要とされるから
- ・多様な知識を得るため